

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

年度経営報告書 （2023年度）

2024 年 3 月



三浦下水道コンセッション株式会社

目 次

1.事業実施状況	1
1-1.事業概要	1
1-2.運営体制	2
1-3.内部統制	4
2. 業務実施状況	5
2-1.経営に関する実績	5
(1) 環境対策	5
2-2.改築及び増築に関する実績	5
(1) 改築	6
(2) 増築	7
2-3.維持管理に関する実績	9
(1) 処理場・ポンプ場の維持管理	9
(2) 管路の維持管理	10
2-4.地域貢献に関する実績	11
(1) 地域貢献	11
(2) 広報活動実施計画	11
(3) 地元企業の利活用に関する事項	11
2-5.任意事業に関する実績—下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業	12
(1) 栽培作物の選定と栽培施設の検討	12
(2) 栽培施設の設置と栽培準備	12
3.財務管理	13
3-1.財務状況	13
3-2.2023 年度 KPI（財務管理目標値）の状況	14
4.2023 年度 KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況	15
別紙.令和5年度工事一覧表	16

1.事業実施状況

1-1.事業概要

1. 事業名称

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業

2. 施設の規模等

（1）1 日当たり処理能力

8,050 m³

（2）管路の総延長

58.165 k m

（3）処理区域

三浦市東部処理区



図 1-1 三浦市公共下水道（東部処理区）事業エリア

1-2.運営体制

(1) 運営体制の構築

本事業開始となる本年度は、当社社員として、知識と経験を有する人材を株主企業から配置した。

また、当初は管理部と技術部の2部門の実施体制としていたが、運営管理の円滑化に向け、以下の目的で技術部を1部門から3部門の構成へと2月度より変更した。

- ・統括責任者が技術部を兼務する体制から統括責任者として専任の体制とし、組織の統制を高める。
- ・技術部を3部分掌体制とし、各部に部長職を置くことで、役割と責任を明確化する。

実施体制図及び配置者の業務経験・技術者要件は以下のとおり。

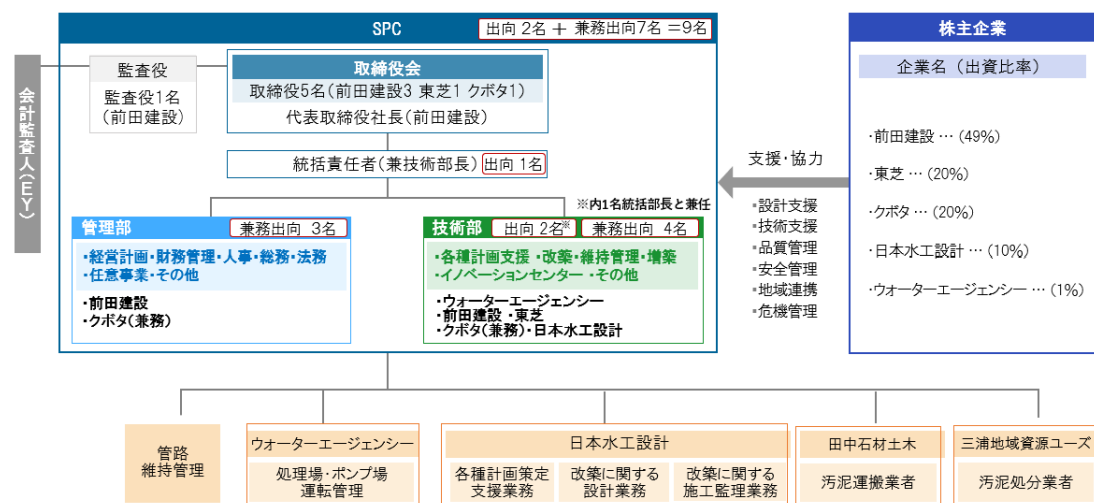


図 1-2 三浦下水道コンセッション株式会社の実施体制（変更前）

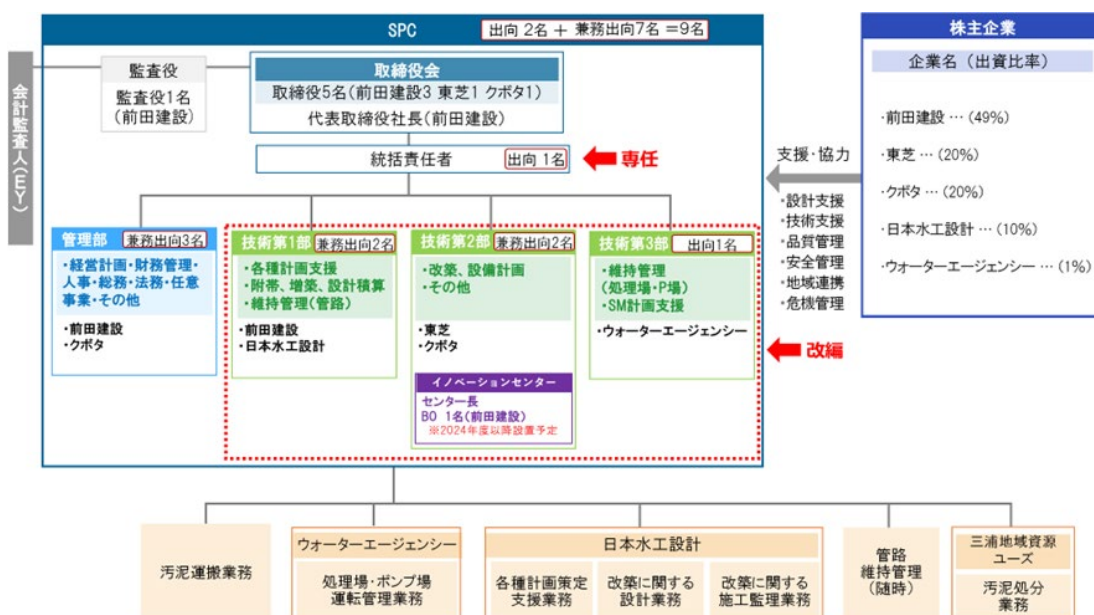


図 1-3 三浦下水道コンセッション株式会社の実施体制（変更後）

前田建設	東芝	クボタ	日本水工設計	ウォーターエージェンシー
■ コンセプション運営の知見提供 ■ 土木・建築の改築計画等の策定支援 ■ 事業運営支援	■ 重電設備企業の知見提供 ■ 電気設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援	■ 水環境設備企業の知見提供 ■ 機械設備等の最適化・改築計画等の策定支援 ■ 改築・修繕支援	■ 水関連コンサル企業の知見提供 ■ スtockマネジメント計画等各種計画策定支援 ■ 計画策定・設計	■ 本施設維持管理等の知見提供 ■ 運転管理業務、維持管理・修繕計画等策定支援 ■ 運転管理

(■ : 役割 ■ : 責任)

図 1-4 株主企業の責任・役割

表 1-5 配置者の業務経験・技術者要件

業務経験・技術者要件	部署	常駐	兼務
官民連携事業における土木・建築工事、修繕、点検に関する業務経験者	統括責任者	1 名	
	技術第 1 部	—	1 名
施設に関する包括維持管理業務（運転管理業務）経験者	技術第 3 部	1 名	—
下水道電気設備技術者	技術第 2 部	—	1 名
下水道機械設備技術者	技術第 2 部	—	1 名
技術士を有する官民連携事業の経験が豊富な技術者	技術第 1 部	—	1 名
SPC 運営管理・地域連携部門の経験者	管理部	—	2 名

(2) 委託等の計画

三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業 年度経営計画書（2023（令和 5）年度）（以下、「2023 年度経営計画」とする。）に記載の通り、下記企業に業務委託を行った。

運転管理業務委託 : (株)ウォーターエージェンシー
 計画策定支援委託、設計施工監理業務委託 : 日本水工設計(株)
 汚泥処分業務委託 : 三浦地域資源ユーズ(株)
 汚泥収集運搬業務委託 : 田中石材土木(株)

1-3.内部統制

運営事業開始に伴い、内部統制の基本方針、企業行動憲章を定め、内部通報窓口を設置。

また、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと、企業倫理に優れた内部統制として管理部と技術部（1部、2部、3部）を設置。

- ・1次モニタリングとして、業務改善会議（1次）を毎月実施。
- ・2次モニタリングとして、業務改善会議（2次）を四半期ごとに実施。
- ・3次モニタリングとして、業務改善会議（3次）を年度ごとに外部評価者も加えて実施。

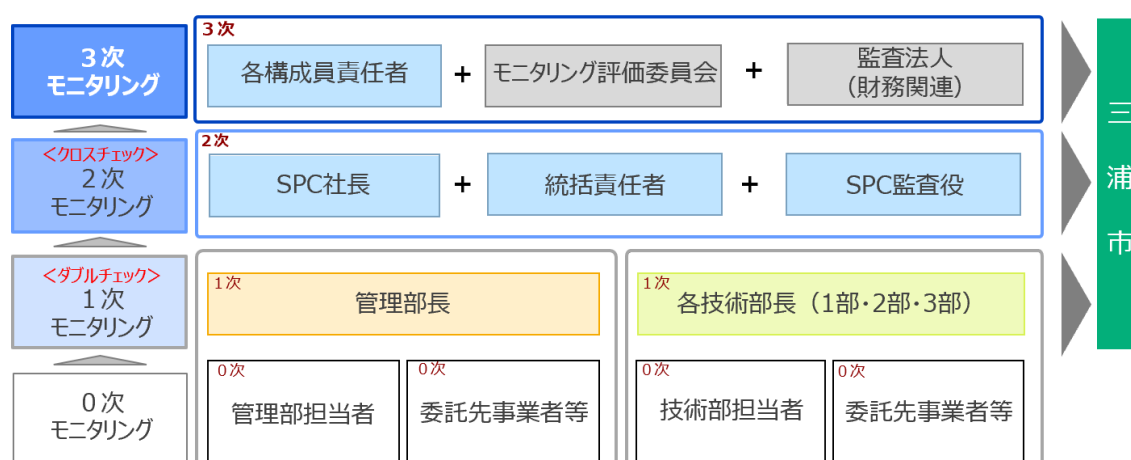


図 1-6 セルフモニタリング体制図

会社法、社内規程に基づき株主総会、取締役会を開催した。また、会計監査人および監査役による監査を実施している。

2. 業務実施状況

2023 年度経営計画で策定した計画（以下 2023 年度の計画）の実施状況は以下の通り。

【凡例】

計画：2023 年度の計画

実績：2023 年度の実績

2-1.経営に関する実績

(1) 環境対策

設置完了にて今年度の目標を達成した。2024 年度から稼働予定であり、今後 CO2 排出量の縮減、LCC の削減の効果検証を行っていく。

計画	水処理棟屋上への太陽光発電設備の設置
実績	水処理棟屋上への太陽光発電設備の設置を完了（2 月）

2-2.改築及び増築に関する実績

神奈川県積算基準や手続きに則った工事予定価格の算出など、民間事業者である当社にとって不慣れな部分も多く、処理に時間を要するという課題点を認識し、改善取り組み中である。

一部工事については、事業開始後の現場状況の再確認や既存資料、設計成果のレビューを経て先送りや工事内容変更等の計画の見直しを行った。見直しを経て、今年度中の完成を予定した工事については概ね完了した（一部に材料入手難による工期延長あり）。

本年度完了した工事は、1) 太陽光発電設備設置工事、2) 東部浄化センター汚泥処理棟の火災報知器（差動式分布型）の更新、3) 東部処理区内のマンホール蓋交換工事（52 箇所）の 3 件であった。別途、年度計画上は改築工事として挙げていたデジタル情報基盤整備についてはデータベース構築にかかる委託業務として発注し、年度内に完了した。

増築工事については、年度計画では管路布設工事までを完了する予定であったが、官民境界線と現況舗装に一部乖離があり、施工方法の検討に時間を要したことから、本年度は詳細設計業務委託のみ完了することとなった。

(1) 改築

年度計画と実績の対比を以下に説明する。また、今年度発注した工事について、別紙に一覧を示している。

表 2-1 土木建築工事計画と実績の対比

本年度予定			本年度実績
東部浄化センター			
1	汚泥処理棟	空調・換気設備 （空調機器、配管、 換気機器設備、換気 ダクト設備等の工事）	実施見送りとした。 理由：既存の詳細設計成果や当社による対象機器の使用見通しなどを基に、本年度は改築実施を要しない判断とした。
2		拡声設備	同上
3		避雷設備	実施を次年度に先送りとした。 理由： 詳細設計について精査が必要になったため。
4		消火災害防止設備	差動式分布型火災報知器のみ本年度に更新し、他は次年度に先送りした。 理由：既存の設計成果をレビューし、追加の工事細別（足場設置）が必要と判断したため、工事内容を予算に見合うよう見直したため。
5	1系水処理	消火災害防止設備	実施を次年度に先送りとした。 理由： 詳細設計について精査が必要になったため。
金田中継センター			
	工事予定なし		工事なし
マンホールポンプ（MP）等			
	工事予定なし		工事なし

表 2-2 電気・機械工事計画と実績の対比

本年度予定			本年度実績
東部浄化センター			
1	管理棟	自家発電ユニット (2ヶ年工事の1年目)	実施中。予定どおり次年度完成予定。
2		遠隔監視システム (2ヶ年工事の1年目)	同上
3		デジタル情報基盤	データベース構築にかかる委託業務として完了。
4	水処理棟	太陽光発電システム	完了。
金田中継センター			
5	監視制御	監視制御ユニット 2 (ポンプ場) (2ヶ年工事の1年目)	実施中。予定どおり次年度完成予定。
マンホールポンプ（MP）等			
6	下宮田3号 ポンプ室	自家発電ユニット (2ヶ年工事の1年目)	実施中。予定どおり次年度完成予定。

表 2-3 管路施設工事計画と実績の対比

本年度予定			本年度実績
管路施設			
1	本管	布設替え (ヒューム管の約 50m を想定)	実施見送りとした。 理由：工事想定箇所が広範囲に複数 箇所分散しており、業者にとって対応可能 な発注単位について再考する必要がある ため。
2		管更生 (約 150m を想定)	約 133m について工事実施中。工期は 本年度末から次年度 6 月末へ変更。 理由：管更生に先立つ事前処理工（モ ルタルや木根の除去など）の数量が予定 よりも多くなったことから予算に見合う規模 に調整した。また、更生材料の納期に時 間が掛かることが判明したため工期を延長 した。
3	マンホール	改築（1 基）	実施不要と判断した。 理由：過年度調査にて改築必要となった 箇所については事業開始までに改築が完 了していたため。
4		蓋交換 (約 50 箇所)	52 箇所の蓋交換を完了。

(2) 増築

計画	年度増築実施覚書に定められた増築工事を実施 (金田岩浦地区への管路布設 (L=177m) について令和 5 年 4 月 に三浦市から指示あり。本年度は設計と管路布設工事まで完了する前 提で年度増築実施覚書を締結した。)
実績	・詳細設計業務の完了 (年度計画では、詳細設計完了後、管路布設工事までを予定していた が、官民境界線と現況舗装に一部乖離があり、施工方法の検討に時間 を要したため。) ・マンホールポンプの設置を含め工事は来年度中に完了する見込みであ り、供用開始時期への影響はない



太陽光発電システム設置工事



マンホール蓋交換工事

2-3.維持管理に関する実績

処理場・ポンプ場の維持管理について、悪質排水の流入による影響はないが、降雨等による不明水の流入がみられた。処理場における水処理について、放流水質基準（要求水準）の逸脱はなかった。また汚泥処理についても排出汚泥の要求水準逸脱は無く、排出した脱水汚泥のうち98.4%を堆肥化、1.6%をセメント原料として再利用した。

管路の維持管理について、事業開始までに三浦市により緊急性の高い改築や修繕工事等が先行して実施されていたこともあり、当初想定されていた修繕工事の数量（平成29年度に策定された計画に基づく）には達しなかった。管路の状態は概ね良好である。管路巡視は予定通り実施、住民からの通報等にも即座に対応した。

(1) 処理場・ポンプ場の維持管理

計画	・運営開始以前も処理場・ポンプ場の運転管理を担っていた(株)ウォーターエージェンシーに委託することで、維持管理の継続性を確保 ・要求水準の遵守のために、月間維持管理計画書（処理場・ポンプ場）に沿って維持管理業務を行う
実績	本年度の要求水準未達はなし

表 2-4 水質に関する要求水準達成状況

項目	単位	法令上の制約 基準値 下水道法施行令 水質汚濁防止法	法定基準 遵守回数	要求水準値 ※ 1	法定分析		要求水準 達成回数	要求水準 達成率
					実施回数			
					計画	実績		
p H	－	5.8~8.6	24	6.0~8.0	24	24	24	100%
B O D	mg/L	15	24	15.0以下	24	24	24	100%
C O D	mg/L	25(20)※2,3	24	15.0以下	24	24	24	100%
S S	mg/L	40※3	24	10.0以下	24	24	24	100%
全窒素	mg/L	30※3	24	20.0以下	24	24	24	100%
全磷	mg/L	4	24	2以下	24	24	24	100%
大腸菌群数	個/mL	3,000	24	30以下	24	24	24	100%

※1 常時放流水質に求める基準 ※2 () 内は、日平均を示す

※3 「神奈川県大気汚染防止法第4条第1項の規定による排出基準及び水質汚濁防止法第3条第3項の規定による排水基準を定める条例」に基づく、上乗せ基準値を記載

(2) 管路の維持管理

年度計画と実績の対比を以下に説明する。

なお 2023 年度維持管理計画は、第 2 四半期に下記の通り計画を変更している。

- ① 巡視：15 km→12.5 km
- ② 本管修繕：261m→0 m
- ③ マンホール修繕：13 箇所→22 箇所

表 2-5 管路維持管理計画と実績の対比

維持管理項目			本年度 予 定	本年度 実 績
管きょ点検				
	点検	マンホール蓋点検工	—	実施なし
		マンホール目視点検工	—	実施なし
		管口カメラ	—	実施なし
	スクリーニング調査	φ450 以下	—	実施なし
		φ500～700	—	実施なし
		φ800 以上	—	実施なし
維持修繕				
	巡視		15 km	12.5 km に対して実施した。巡視範囲の割り付けの都合上、予定に対して数量減となっているが、5 年間ですべての管路を巡視する計画に変更はない
	伏越し清掃		—	実施なし
	本管修繕		261 m	実施なし。過年度の TV カメラ調査結果を精査し、修繕工事の必要なしと判断した
	マンホール修繕		13 箇所	実施なし。来年度上半期に 22 箇所を実施する予定であり、施工業者とは内容合意済み
	公共ます修繕		—	実施なし

上記のほか、マンホール周辺の舗装損傷、マンホール蓋ガタツキ、污水詰まりなどの計 7 件の住民通報について、適時適切に対応した。

2-4.地域貢献に関する実績

地元企業との意見交換や、みうら市民まつりへの参加、地域住民を対象とした処理場施設見学会を実施し、地域貢献や、広報活動は計画を履行することができた。

地元企業の利活用については、地元が発注できる企業がなく、県内業者への発注となった汚泥運搬を除き、目標通りの発注を行った。

(1) 地域貢献

計画	・三浦地域で開催されるイベントへ参加 ・本事業の PR 活動に関する企画立案に向けた準備を実施
実績	・第 1 四半期に地元観光関連会社と市内イベントに関するヒアリング、及び本事業のPR活動に関する意見交換を実施 ・第 3 四半期にみうら市民まつりへ参加し、事業 PR を実施

(2) 広報活動実施計画

計画	地域住民や地元教育機関向けに処理場施設見学会を開催 (10 月以降)
実績	地域住民を対象に 3/23 (土) に処理場施設見学会を実施

(3) 地元企業の利活用に関する事項

※地元企業とは、三浦市内に本社を置く企業を指す。

計画	以下の工事を地元企業へ発注することを目標に設定する ・改築工事（土木建築と管路施設） ・維持管理関連委託業務 汚泥運搬及び各種修繕工事（本管、マンホール、公共汚水ます） ・任意事業における栽培施設の設置工事等
実績	・改築工事 8 件のうち、土木建築工事 1 件中 1 件、管路施設工事 2 件中 2 件、電気・機械工事 5 件中 1 件を地元企業へ発注 - 土木建築工事と管路施設工事の地元企業発注率 100%を達成した ・汚泥運搬業務は、神奈川県 of の業者に発注 ・任意事業の栽培施設電気工事及び配管工事について、地元企業 2 社へ発注

2-5.任意事業に関する実績—下水道資源を活用した高付加価値作物の生産事業

2023 年度上半期は、連携する市内高校関係者と栽培作物や連携体制についての検討会を実施した。市との事業開始手続きは 2024 年 1 月中旬までに完了し、事業用地内の栽培施設設置工事に着手した。2024 年度の作物栽培開始に向け、施設内の各種設備設置及び試運転を継続中。

(1) 栽培作物の選定と栽培施設の検討

計画	2023 年 4 月～9 月までの間に神奈川県立三浦初声高等学校都市農業科の関係者と検討会を実施
実績	・5 月～9 月にかけて、神奈川県立三浦初声高等学校の関係者と検討会を実施し、栽培する作物の選定および連携体制の確認を実施 ・並行して、栽培施設の仕様について各業者と打合せを実施し、仕様を確定

(2) 栽培施設の設置と栽培準備

計画	2023 年 9 月～2024 年 3 月までの間に栽培施設の設計及び建設
実績	・1 月中旬に公有財産賃貸借契約締結等の事業開始手続きを完了し、栽培施設（木造ビニールハウス、プレハブハウス、下水熱利用設備等）の設置工事を開始 ・工事は概ね完了し、施設稼働に向け試運転・各種調整を実施中

3.財務管理

3-1.財務状況

表 3-1 財務状況

【単位：千円】

科 目	2023年度		
	計画(4月～3月) (A)	実績(4月～3月) (B)	差額(4月～3月) (C) = (B) - (A)
経常収益			
利用料金	193,925	194,445	520
計画支援報酬	3,020	2,910	△110
営業外収益	—	2,641	2,641
経常費用			
売上原価	149,106	129,735	△19,372
販売費及び一般管理費	26,133	28,358	2,225
営業外費用	10,307	8,664	△1,643
経常損益	11,398	33,239	21,841
法人税等	3,154	11,245	8,090
当期純利益	8,244	21,995	13,751

【経常収益】

利用料金収入及び計画支援報酬について、計画額と大幅な乖離はない。

営業外収益について、計画では見込んでいなかった修繕の請負収入の発生が主な理由である。

【経常費用】

売上原価については、管路及び処理場ポンプ場の突発的修繕が計画より発生しなかったこと、年度内での電力費のさらなる上昇を想定したが、想定よりは下向したことが乖離の主な要因である。

販売費及び一般管理費は、事務所備品について、リースを計画していたが、購入へ切り替えたことが乖離の主な要因である。

営業外費用は、計画していた金融機関からの借入が不要となったことから、手数料が発生しなかったことが乖離の主な要因である。

3-2.2023 年度 KPI（財務管理目標値）の状況

財務管理目標値について、達成状況を報告する。達成率は、各四半期時点での累積値である。

表 3-2 KPI 達成状況

項目	目的	目標値	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
経常収支比率	収支バランスの管理・持続可能性の確保	100.0%	4.9%	120.7%	152.4%	118.2%
売上高経常利益率	事業運営の収益性確保	6.8%	20.5%	25.3%	26.6%	16.6%
当座比率	短期的な財務健全性・継続性の確保	120.0%	314.3%	223.9%	211.3%	189.4%
自己資本比率	中長期的な財務健全性・継続性の確保	45.0%	52.9%	50.4%	51.3%	47.9%

【2023 年度の内容】

・いずれの KPI も、目標値を達成した。

4.2023 年度 KPI（財務管理目標値以外の目標値）の状況

財務管理以外の目標値について、報告する。下記 表4 では、2023 年度末目標値に対する、KPI 達成率を記載している。
 なお、※を付してる項目については、年度末時点の累計の値で KPI 達成率を判定せず、四半期毎に KPI 達成率を確認している。
 今年度は、全ての KPI について目標値を達成した。

表 4.KPI 達成状況

項目	内容	モニタリング頻度	年度末目標値	単位	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間計	KPI達成率
【経営】コンプライアンス										
苦情・要望・相談等対応率	市民等から寄せられる苦情・要望・相談事項の対応率	四半期	100%	発生件数	3	1	3	0	7	100%
				対応件数	3	1	3	0	7	
コンプライアンス研修実施率	コンプライアンス研修の年間計画に対しての実施率	四半期	100%	計画件数	0	2	0	1	3	100%
				実施件数	0	2	0	1	3	
災害・事故対応訓練実施率	BCP内の訓練計画の計画に対しての実施率	半期	100%	計画件数		3		2	5	100%
				実施件数		3		2	5	
BCP	BCP見直し・改定回数	年次	100%	計画件数				1	1	100%
				実施件数				1	1	
【経営】環境対策										
下水道汚泥リサイクル率	汚泥発生量に対する、堆肥やセメント材料としてリサイクルされた割合	四半期	100%	汚泥発生量 (単位：t)	309.72	325.80	348.63	321.03	1305.18	100%
				汚泥利用量 (単位：t)	309.72	325.80	348.63	321.03	1305.18	
臭気・振動・騒音発生件数	臭気・振動・騒音に関する苦情の発生件数	四半期	0 件	発生件数	0	0	0	0	0	0件
【改築】品質管理・安全管理										
第三者災害・労働災害発生件数	第三者災害・労働災害発生件数	四半期	0件	発生件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件
【維持管理】運転管理・保全管理										
放流水質の要求水準達成※	放流水質の要求水準達成率	四半期	100%	達成率	100%	100%	100%	100%	—	—
汚泥含水率の要求水準達成率※	汚泥含水率の要求水準達成率	四半期	100%	達成率	100%	100%	100%	100%	—	—
【その他】										
ICT導入率	ICT導入に関する計画に対する実績値	半期	100%	計画		2		0	2	100%
				実績		2		0	2	
帳票類電子化率	帳票類の電子化計画に対する実績値	四半期	-	データドリブによる事業運営の高度化に向けて、帳票類電子化計画を策定している。						

・ICT 導入率…第 2 四半期について、メール・Web 会議導入の計 2 件である。

別紙.2023 年度工事一覧表

工事名（委託名）	工事概要（委託概要）	工期	受注者（赤字は地元企業）	事業費（税込）
令和5年度東部浄化センター太陽光発電設備工事	東部浄化センターに太陽光モジュール、パワーコンディショナー、蓄電池システム等を新設するもの。	R5.11.15~R6.2.18	株式会社エクソル	77,000,000
令和5年度東部処理区本管改築工事	老朽化した污水管路を更生するもの。工事延長L=133 m	R5.11.27~R6.6.28	有限会社石渡技建	16,621,000
令和5年度東部浄化センター建築電気設備更新工事	東部浄化センター汚泥処理棟の火災報知器を更新するもの。	R6.1.12~R6.3.29	株式会社浜名電工	4,037,000
令和5年度東部浄化センター監視制御設備等更新工事その1	污水处理設備の運転状況を遠隔で監視するための設備を導入するもの。 （機器製作）	R6.1.12~R7.3.31	安川オートメーション・ドライブ株式会社	44,770,000
令和5年度東部浄化センター自家発電設備等更新工事	東部浄化センターの自家発電設備を更新するもの	R6.1.12~R7.3.31	株式会社第一テクノ	198,000,000
令和5年度金田中継センター監視計装盤等更新工事	金田中継センターの監視制御ユニットを更新するもの	R6.1.12~R7.3.31	有限会社三久電設	53,900,000
令和5年度下宮田3号マンホールポンプ自家発電設備等更新工事	下宮田3号ポンプ室の自家発電設備を更新するもの。	R6.1.12~R7.3.31	株式会社第一テクノ	26,246,000
令和5年度三浦市公共下水道マンホール蓋交換工事	老朽化した污水マンホール蓋を交換するもの。N=52箇所。	R6.2.9~R6.3.29	有限会社石渡技建	23,514,000
令和5年度デジタル情報基盤整備業務	污水处理設備や管路に関する各種データ（運転監視情報、点検・診断情報など）を集約したデータベースを構築するもの。	R6.1.12~R6.3.15	日本水工設計株式会社	1,100,000